

トピックス

大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

シカ被害対策 ～地域の森林を獣害から守る～

近畿中国地方では、ニホンジカの個体数の増加と分布域の拡大が著しくなっており、管内の一部国有林においても新植地での苗木の食害が発生しています。また、食害による下層植生の著しい衰退も一部では進んでおり、今後、さらに食害により裸地化が進むと、土壌流出のほか土砂災害などのリスクも高まることが危惧されています。

シカは繁殖力が高く2歳以降、毎年妊娠し、年率20%で増加し、4、5年で倍増します。生息分布域についても1978年度以降拡大し、分布域を約2.5倍に拡大しているとの環境省のデータがあり、取り返しのつかない事態になる前に、早急に対策を講じなければならない状況になっています。

森林被害の防止のためには、効率的・効果的なシカ被害対策を講じることが重要であり、そのため府県等との生息密度情報や捕獲情報の共有を図り、地域と一体となったシカ被害対策を推進しているところです。

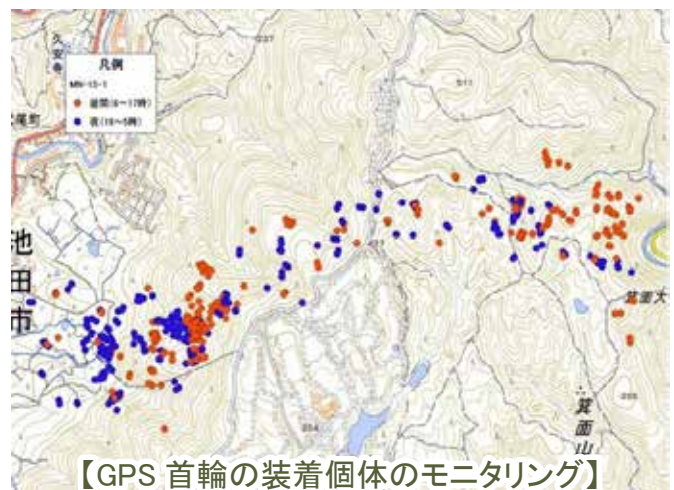
近畿中国森林管理局としても、効率的・効果的なシカ被害対策の推進に向けて、簡易に設置でき、捕獲効率が高く、クマの錯誤捕獲のおそれのない首用くくり罠の導入を推進しています。

また、シカ捕獲を効率的に実施するため、糞塊密度調査や自動撮影カメラによる分布域の拡大や生息頭数の増加傾向の把握、GPS首輪の装着による行動特性の把握などのモニタリング調査を実施しています。

一方で、研究機関と共同したドロップネットによるシカ捕獲の試行や新植箇所等における苗木の保護を図るため、積雪等地域の条件に応じた防護柵を設置するなど新たな技術開発も行っています。



【首用くくり罠を使った捕獲】



【GPS首輪の装着個体のモニタリング】



【斜め張り防護柵でのモニタリング】

ニュース

第40回全国育樹祭の開催（京都府）

【森林整備部 技術普及課】 10月9日（日）、森を守り育て、次の世代へとつなげることを目的に、京都府南丹市「府民の森ひよし」において、皇太子さま御臨席のもと、

「第40回全国育樹祭」が開催されました。

全国育樹祭は、全国各地で毎年秋に行われているもので、京都府では初めての開催となりました。

京都府では、森林資源を活用した林業の生産性の向上と長い歴史の中ではぐくまれた森の文化を発信し、地域の活性化を図る「森の京都」事業を展開することとしており、これを象徴する行事として、また、平成28年度は、京都府で推進されている「京都モデルフォレスト運動」の10周年に当たることから、一層推進するための契機と位置づけ、多くの府民が参加できる開かれた運動として、全国育樹祭が開催されました。

式典で皇太子さまは、「森林を守り育て、木とともに人々が暮らしてきた文化が、ここ京都の地から全国へ、未来へと継承されていくことを願います」とあいさつされました。

また前日は、京都府立山城総合運動公園（京都府宇治市）において、平成3年に京都府で開催された第42回全国植樹祭において、天皇皇后両陛下がお手植えされた「北山スギ」と「しだれ桜」のお手入れをされ、今大会のテーマ「育樹の輪ひろげる森と木の文化」を全

国に発信されました。

そのほか式典行事では、全国緑化功労者等の表彰、緑の少年団活動発表、大会宣言、アトラクションなどが行われました。

また、併催行事として「国際森林シンポジウム（育林交流集会）」と「全国緑のこどもサミット（全国緑の少年団活動発表大会）」

が開催されました。「国際森林シンポジウム（育林交流集会）」では、林業関係者をはじめ、モデルフォレスト運動に参画する企業・団体・大学・ボランティア、一般参加者など、幅広い参加者のもとで、これからの森林づくりについて特別講演、パネルディスカッションが行われました。「全国緑のこどもサミット（全国緑の少年団活動発表大会）」では、次代を担う子どもたちが、森林

の大切さ、緑を守る活動を知り、交流するため、全国から選出された緑の少年団と京都府内の緑の少年団が一堂に会し、活動発表などが行われました。

さらに、記念行事として林業の機械化による森林施業の効率化を、森林・林業関係者へ一層普及するために、全国の林業機械メーカーが最新の林業機械等を展示・販売する「森林・林業・環境機械展示実演会」などが開催されました。

近畿中国森林管理局からは、馬場局長をはじめ幹部職員が式典に出席したほか、京都大阪森林管理事務所が国有林のPRのためブースを出展しました。

ブースでは、京都府内に所在する国有林や業務の取組などをパネルで紹介するとともに、各種パンフレットの配布やワークショップ（木工クラフト）を開催しました。

この全国育樹祭の開催を通じて、森林を次世代につないでいくため、継続して森を守り育てることの大切さ、地球温暖化等の問題、適正な森林の管理や環境保全の重要性とともに、それらに対する国有林の真摯な取組が、参加された皆様に再認識していただきました。



国有林モニター会議 (第2回・福井県)の開催

【総務企画部 企画調整課】 近畿中国森林管理局では、国有林について地域の皆様に知っていただくとともに、双方向の情報・意見の交換を図り、ご意見やご要望を国有林行政に役立てることを目的として、今年度は管内59名の方に「国有林モニター」をお願いしています。

今回、管内の東海、北陸、近畿地方にお住まいのモニターのうち、9名の方にご参加いただき、今年度第2回目のモニター会議を10月15日(土)に福井森林管理署管内において開催し、現地見学及び意見交換会を実施

しました。

はじめに、
てつやま
天筒山国有林において都市近郊の国有林における森林レクリエーション利用の現状を見学しました。天筒山は、標高171

mと高くはありませんが、織田信長と朝倉氏が激戦を交えた金ヶ崎城の東に隣接し、山頂の展望台からは敦賀市

街地、敦賀湾のほか、ラムサール登録湿地となっている中池見湿地が見渡せます。また、付近は広葉樹を主体とした天然林となっており、歩道

や広場、トイレなどが整備されており、手軽に登れる山として、市民に親しまれています。参加したモニターの皆さんは、澄み渡る青空の下、敦賀湾や午後に見学予定

の^{けひ}気比の松原を眺めたり、写真を撮ったりし何故市民に親しまれている国有林なのか実感していました。

昼食の後、気比の松原として

名高い松原国有林に移動し、白砂青松の素晴らしい松原の景観を見学して頂きました。特に、福井署の職員か



工事など、松原で行われている取組を紹介し、モニターの皆様からは、これらの取組について初めて知り、参考になった等のご意見をいただきました。

その後、敦賀市内の施設において意見交換を行いました。意見交換では、

- ・健全な森林とはどのような状態のことをいうのか。
- ・境界を確定するというのは至難のワザだがどうされているのか。
- ・観光地である松原国有林における取組を紹介するのに、多言語での表示も考えてみては。
- ・森林の市などのイベントの告知をもっとがんばってほしい。
- ・松の管理について、いろいろ取組んでいるのを初めて知った。

など、活発な意見交換が行われ、多くのご意見をいただきました。

今年度は、第1回目のモニター会議を、山口県内で予定していたものの、台風の接近に伴いやむなく中止となってしまう、「今回こそは」と臨んだところですが、幸いにも快晴に恵まれ、無事に終えることができました。

参加いただきましたモニターの皆様には、大変御多用のところ御出席いただき、市民目線からの有意義なご意見・ご要望を頂きました事について、紙面を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今回の会議で得られた貴重なご意見・ご要望については、今後の国有林野の管理経営に反映させるよう努めていきたいと考えています。



木育座談会「子育てに木を使おう！」で木づかいをPR

【森林整備部 技術普及課】 10月22日（土）、大阪府吹田市の万博記念公園で、産経新聞社主催の木育座談会「子育てに木を使おう！」が開催されました。この座談会は、林野庁の補助事業「新たな木材需要創出総合プロジェクト事業」を活用した取組で、「木づかい・森林づくりの担い手の開拓や消費行動を促し、国民各層による木づかいの実需を創出・拡大する」という事業目的のうち、特に「木育」に焦点を当てたPRイベントです。

座談会のテーマは「子育てに木を使おう！」ということで、「ミス日本みどりの女神」の飯塚帆南さん、大阪府木材連合会理事（木材PR委員）の湯川昌子さん、NPO法人ハッピーマザー協会代表理事の山村貴乃さんらとともに、近畿中国森林管理局技術普及課の池内麻里さんがパネラーとして参加しました。

「ミス日本みどりの女神」の飯塚帆南さんは、林野庁広報大使としての日々の活動を通して学ばれた森林・林業に関するトピックや経験談について、新鮮な感性で魅力的に来場者にPRされていました。特に、手入れ不足の森林について

「メタボ化」しているとしてわかりやすい言葉で表現したうえで、森林は伐って植えるサイクルが重要で、木を伐ることには悪いイメージがあるけれども必ずしもそうではないこと等を熱心にアピールされました。

山村さんは、子どものために、できる限り自然なものに囲まれて生活してほしいということ、その1つとして木材の大切さを位置づけ、子どもの保育園選びの際の実体験をもとに、木の内装が子どもを落ち着かせること等を話されました。また、弁当箱の「わっぱ」の魅力につい

て伝えられました。

湯川さんは、木育の意義や有用性について、親しみやすい語り口で来場者にPRされました。内装に木材を利用した教室でインフルエンザによる学級閉鎖が少ないという研究事例を紹介したり、間伐の意義をわかりやすく説明するとともに、山と海はつながっていて、山の整備が行き届いていれば町でおいしい魚が食べられること等を、ユーモ

アたっぷりに語られました。

池内さんは、子育て世代が木育に向き合うことは時間的にも経済的にも実際のところハードルが高いが、できる範囲での取組例として、木製の子ども椅子や無垢のフローリングの導入等、子どもの肌に触れる部分だけでも選択的に木材を利用してみようことを提案しました。

トークの中では、木のボールプール等の木育広場が人気の「東京おもちゃ美術館」の話が出て、木育がイベントとして一過性で終わることなく、大阪にも木育を体験、実践できる拠点を整備してほしいとの声をたくさんいただきました。

この座談会は、大阪府と産経新聞社が主催の「万博ママ・マルシェ ハロウィンフェスティバル」というお祭りイベントのステージイベントとして開催されたもので、当日の公園来場者数は1万人を超え、会場は家族連れやカップルの来場者でにぎわっていました。ステージ前の来場者のほかに、場内放送でも公園内に座談会の音声が流れたため、イベント来場者に幅広く木づかいのPRを行うことができ、また、木育について一定のPR効果が期待できる取組となりました。

「コンテナ苗の普及に向けた現地検討会」を開催

【森林整備部】 近畿中国森林管理局では、「コンテナ苗の普及に向けた取組」の成果と課題について、民有林への普及を図るため、10月13日（木）～14日（金）に岡山県勝田郡奈義町及び新見市において、低コスト化を進めるうえでの重要な要素であるコンテナ苗の普及に焦点を絞り、現地検討会を開催しました。

主伐・再生林の推進に伴い、苗木需要の増加が見込まれ、植栽時期を選ばず高い活着率などが期待されるコンテナ苗を用いた低コスト造林技術に対する関心が高いことから、当局管内の林木育種センター、森林整備センター、府県担当者、府県森林・林業研究機関担当者、森林組合、種苗組合関係者など、民有林関係者約70名の参加がありました。



第1部は、合田次長から、利用期をむかえた森林が増加する中で、資源の循環利用の観点から、民有林においても主伐を進めていく必要があり、コンテナ苗の普及を図るため、国有林のフィールドを活かし、コンテナ苗を用いた伐採と造林の一貫作業システムの取組が事業レベルで有効かどうかの実証を複数の箇所で行うなど、林業の低コスト化に向けた技術開発と、その成果の普及・定着に積極的に取組との挨拶がありました。

その後、当局担当者から「コンテナ苗の普及に向けた取組の背景とねらい」、^{とよなみ}豊並樹苗生産組合の長畑組合長から「コンテナ苗生産の工夫と現状」について情報提供や実務的なノウハウを含めた説明があり、参加者は高い関心を示していました。その後、コンテナ苗生産の苗畑を視察し、意見交換では、コンテナ苗普及の考え方やコンテナ苗の価格等に関する意見・質問がありました。^{さんこうやま}

また、第2部は、三光山国有林において、現地検討を行いました。

初めに、森林総合研究所関西支所から、共同試験の目的・概要の説明がありました。

三光山国有林では、森林総合研究所関西支所と共同で試験地を設定し、コンテナ苗等を季節別（8月、10月、4月）に植栽して活着状況や成長量の調査を実施してい

ます。また、無下刈区を設定し、苗木と競合関係にある雑草等が繁茂する状態で、ヒノキコンテナ苗の成長量、生存率について、下刈区と比較調査を実施しています。

細川森林技術・支援センター所長による、試験地から掘り取った苗木の掲示及び成長量や発根状況について説明を行った後、試験地に移動して、



季節別に植栽した箇所のコンテナ苗の成長量等の確認や無下刈り区において、下刈り省略の可能性について検討しました。

その後、森林総合研究所関西支所からコンテナ苗の



メリット及び課題等の説明があり、意見交換を行いました。参加者からは、無下刈り区の成長状況など、実際に現地で確認でき参考になった。

伐採後の速やかな植栽が大事なことがわかったとの声が聞かれました。

最後に、高井森林整備部長から、コンテナ苗は一貫作業システムとセットになるが、生産班と造林班の連携をとって、そのメリットをきちんと得ることが重要であり、これからの造林の施業方法を考えるに当たっては、今までの人工林施業の常識的な方法を根本的に考え直す必要があるとのまとめがありました。

近畿中国森林管理局では、引き続き試験成果の民有林等への普及・定着に努めていきます。

お知らせ

見て・さわって・樹木と友だち
になるう「初冬」
～クリスマスリースを
手づくりしませんか～

＊ 開催日時 12月10日（土）

10:00～12:00 13:30～15:30

＊ 定員・締切 40名・先着又は12月5日（月）

＊ 開催場所 近畿中国森林管理局 1階ギャラリー

＊ 参加費 お一人につき500円（材料費・保険料）

＊ イベント問い合わせ・申し込み先

近畿中国森林管理局 技術普及課 担当：緑の普及係
TEL：050-3160-6753

・詳細は、下記よりご確認ください。

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/fukyuka_event/161210.html

森林のギャラリー（局庁舎1階）

【11月のテーマ：自由展示】

11/14～11/18 エコロジー似顔絵グループ展

【似らっくすクラブ】

11/14～12/2 知ってる？日本の食糧事情

【近畿農政局 消費・安全部 消費生活課】

11/21～12/16 「企業の森」15周年を迎えて

【和歌山県 森林・林業局 森林整備課】

シリーズ『国有林 最前線!』

岡山森林管理署 金川森林事務所（金川・津賀担当区） 首席森林官 吉崎 明彦

金川森林事務所は岡山市北区御津金川に所在し、「金川担当区」と「津賀担当区」を管轄しており、地域技術官と2名で業務を行っています。

金川担当区は岡山市北区御津町と建部町の国有林1,160ha、官行造林地70haを管理しています。

森林事務所のある御津金川は、戦国時代に松田氏、宇喜多氏、池田藩が治めた城下町や陣屋町として栄え、各所に史跡等があります。事務所北側の城山国有林山頂には、城跡（玉松城）があります。一般的には「臥竜山」と呼ばれ、御津町が遊歩道を整備しており、地域住民のいこいの場として親しまれています。



宇甘川と城山国有林



宇甘溪赤橋周辺の紅葉と加茂山国有林

津賀担当区は吉備中央町、総社市等の国有林1,624ha、官行造林地39haを管理しています。

部内の国有林は全般にスギ、ヒノキの材質が良く、特に小本宮国有林及び旧池田藩御料林であった加茂山国有林は良材生産地として有名です。この為、分収育林の契約地が多く、近年はそれらが契約期間満了で次々と伐期を迎えており、毎年、数箇所の伐採搬出を行っています。

また、加茂山国有林の宇甘川沿いは宇甘溪風景林に指定されており、春は桜、秋は紅葉と赤橋を渡って散策する等、多くの人々に親しまれています。

部内の気候は温暖で冬期の降雪はほとんどないことから、春から夏は除伐、下刈、分収育林の明認等を実施し、秋は地拵、植付、境界予備調査、県北が積雪で閉ざされている冬は、境界巡検を行う等、一年中仕事が途切れないのが特徴です。

鳥取森林管理署

歴史と景勝の山「船上山」



屏風岩側壁

屏風岩と呼ばれる断崖絶壁が連なる船上山は、平安時代初期頃から山岳仏教が栄え、修験道の聖地でした。この地は元弘の乱により隠岐に配流となった後醍醐天皇が、1333年に隠岐を脱出して、伯耆の豪族 名和長年を伴い鎌倉幕府との間で激しい戦いを繰り広げられた古戦場もあり、歴史ロマンを感じさせる山です。



屏風岩



千丈滝



行宮跡

また、船上山国有林内には、ブナやミズナラなどの新緑や紅葉など四季折々に様々な表情を見せる天然林や屏風岩を轟音激しく流れ落ちる千丈滝、山頂付近の介在地には国指定史跡の船上山行宮跡やイザナミノミコトなどを祭る船上神社、周辺にはスキが広がる茶園原が眼下に見渡せ、日本海への眺望が開けているなど、四季を通じた素晴らしい景観により登山やハイキングなど広く利用されています。



船上山全景

更に、船上山国有林を含む大山周辺に所在する国有林は、「大山隠岐国立公園」に指定されるなど、この地域を代表する原生的な天然林を有していることから、豊かな森林生態系の維持、保護、保存などを目的として、「大山森林生態系保護地域(3,190.59ha)」にも指定しています。

しかしながら、平成25年頃から船上山を含む大山周辺では、カシノナガキクイムシの被害が発生し広がりを見せており、当署も大山地域ナラ枯対策協議会に参画し、駆除対策や試験機関への場所の提供など地域と連携してナラ枯れ対策を実施しています。具体的には、平成25年度から毎年、立木



ナラ枯れ

燻蒸処理・搬出焼却処理などの対策を実施していますが、被害は拡大傾向の一途をたどり、危機的な状況となっています。そこで今後は、更に地域との連携を深め、害虫の誘因捕殺などの予防対策に要点を移した施策を実施していくこととしました。

このように国有林では、地域の多様で貴重な自然環境を後世に残すための取り組みを進めているところですが、皆様も、四季折々の魅力あふれる船上山を訪れ、多様で豊かな自然に包まれ、歴史に想いを馳せてみませんか。